

ビジネス情報科 2年A組

教科	商業	科目(単位)	財務会計Ⅰ(4単位)
使用教科書	財務会計Ⅰ(TAC)		
授業形態	通常授業・ <b>分割授業</b> ・TT		

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。

※TT(チームティーティング)とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

1 科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。
- (3) 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 科目の内容と授業の進め方

- ・会計の諸活動に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、会計に対する望ましい心構えや実践的な態度を身に付けます。
- ・会計の諸活動に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けます。

3 学習の方法

- ・「財務会計Ⅰ」では「簿記」と同様に、赤ボールペンや電卓などを利用します。また「財務会計」では「簿記」以上に会計規則について学習することが重要です。教科書巻末の企業会計原則、商法、商法施行規則、金融商品会計基準などの資料を活用するようにしましょう。
- ・「財務会計Ⅰ」そのものはきわめて奥の深い科目です。書店などで、会計学・財務諸表論といった科目の入門書などを自分で購入して学習能力をアップさせましょう。また、授業の復習を必ず行い、各資格試験に挑戦し、合格しましょう。

4 課題・補習について

- ・項目ごとに随時小テストを行います。
- ・点数が低い者は補習を行います。

5 この授業で取得可能な資格(検定試験)

- ・全商簿記実務検定 1級会計・2級

6 観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務会計に関する基礎的・基本的な知識や仕組みについて理論と実務を関連づけて理解するとともに、適正な会計処理を行う技術を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術とともに、ビジネスの諸活動に携わるものとして、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務会計について関心を持ち、適正な会計処理を行うことをめざして主体的に取り組む態度をもち、会計処理を行う実践的な態度を身に付けている。</li> </ul>

ビジネス情報科 2年A組

教 科	商 業	科目(単位)	財務会計Ⅰ(4単位)
-----	-----	--------	------------

7 年間の学習計画

月	単 元 名	学 習 の 内 容	評価方法 (課題等)
4	第1編 財務会計の基礎 第1章 企業会計と会計公 準 第2章 企業会計制度 第2編 貸借対照表 第3章 貸借対照表の概要 第4章 資産の分類と評価	企業会計の意義や役割について、株式会社 制度の特徴と関連付けて扱う。また、財務 会計と管理会計の役割の違い、財務会計 利害調整機能と情報提供機能、会計担当 者の役割と責任、会計公準の概要及び会 計などに関する情報開示(ディスクロー ジャー)の重要性について扱う。 会計法規の種類と目的、会計基準の意義と 動向について扱う。また、会社法会計、金 融商品取引法会計及び税法会計の目的と 特徴について学習する。 資産と負債の分類とその基準について学 習する。資産の分類、評価基準について 学習する。	行動観察 小テスト 積極的な質問
5	第5章 負債の分類 第6章 現金預金 第7章 金銭債権 第8章 電子記録債権・電 子記録債務	負債の分類について学習する。 現金預金の種類と銀行勘定調整表の作成方 法を学習する。 現金預金の会計処理方法を身に付ける。 金銭債権の種類と評価方法を学習する。 金銭債権に関する会計処理を身に付ける。 保証債務の意味を捉え、会計処理方法を身 に付ける。 電子記録債権・電子記録債務の意味を捉 え、電子記録債権・電子記録債務に関する 会計処理方法を身に付ける。	課題テスト 行動観察 問題集点検 積極的な質問 授業振り返り 前期中間考查
6	第9章 棚卸資産 第10章 有価証券	棚卸資産の評価基準、棚卸資産の会計処理 と期末評価の会計処理方法を身に付ける。 有価証券の意味、区分を捉え、有価証券に 関する会計処理方法を身に付ける。 <b>全商簿記実務検定2級</b>	行動観察 小テスト 積極的な質問
7	第11章 有形固定資産 第12章 リース取引	棚卸資産の評価基準、棚卸資産の会計処理 と期末評価の会計処理方法を身に付ける。 リース取引の意味を捉え、リース取引に関 する会計処理方法を身に付ける。	行動観察 小テスト 積極的な質問
8	第13章 無形固定資産	無形固定資産の意味を捉え、無形固定資産 に関する会計処理方法を身に付ける。	課題テスト
9	第14章 研究開発費とソフ トウェア 第15章 引当金	引当金の意味や分類を捉え、引当金に関す る会計処理方法を身に付ける。 純資産の意味や分類を捉え、株式会社の設 立時と開業時の会計処理、資本金の増加と 減少の会計処理、資本剰余金と利益剰余 金の会計処理方法を身に付ける。	行動観察 積極的な質問 行動観察 問題集点検 小テスト 積極的な質問 授業振り返り 前期末考查
10	第16章 純資産(その1) 第17章 純資産(その2) 第18章 純資産(その3)	純資産の意味や分類を捉え、株式会社の設 立時と開業時の会計処理、資本金の増加と 減少の会計処理、資本剰余金と利益剰余 金の会計処理方法を身に付ける。 自己株式の概念と取得・処分・消却の会計 処理方法を身に付ける。 新株予約権の概念と発行・権利行使の会計 処理方法を身に付ける。	行動観察 小テスト 積極的な質問

11	<p>第19章 貸借対照表の作成方法 第3編 損益計算書 第20章 損益計算書の概要 第21章 損益計算の基準</p>	<p>棚卸法と誘導法、報告式の貸借対照表の表示区分と作成方法について扱い、資料を基に報告式の貸借対照表を作成方法を学習する。報告式の損益計算書の表示区分と作成方法を学習する。期間損益計算の意義を捉え、損益に関する認識基準や原則を学習する。</p>	<p>行動観察 問題集点検 小テスト 積極的な質問 授業振り返り 後期中間審査</p>
12	<p>第22章 役務の提供と工事契約 第23章 掛け代金の割引 第24章 外貨建取引</p>	<p>役務の提供の意味を捉え、役務の提供に関する会計処理方法を身に付ける。工事契約の意味を捉え、工事契約に関する会計処理方法を身に付ける。割引の意味を捉え、割引に関する会計処理方法を身に付ける。外貨建取引の意味を捉え、外貨建取引に関する会計処理方法を身に付ける。</p>	<p>行動観察 小テスト 積極的な質問</p>
1	<p>第25章 法人税等と税効果会計 第26章 損益計算書の作成方法 第27章 その他の財務諸表</p>	<p>株式会社における法人税、住民税、事業税の会計処理について身に付ける。企業会計上の利益と税法上の課税所得の違い、税効果会計の意義及び将来減算一時差異と将来加算一時差異に関する基礎的な会計処理を身に付ける。損益計算書の作成に関する原則を学習し、損益計算書を作成する方法を身に付ける。株主資本等変動計算書の意味を捉え、株主資本等変動計算書の作成に関する会計処理方法を身に付ける。 <b>全商簿記実務検定1級会計 2級</b></p>	<p>課題テスト 行動観察 積極的な質問</p>
2  3	<p>第4編 財務諸表の活用 第28章 ディスクロージャー制度 第29章 財務諸表分析 発展 連結財務諸表 第30章 連結財務諸表</p>	<p>財務会計の利害調整機能と情報提供機能、会計などに関する情報開示（ディスクロージャー）の重要性について学習する。財務指標の概念及び収益性、成長性、安全性の面から企業の実態を分析する方法について扱い、財務指標の具体的な例を用いて同一企業における期間比較や同業他社比較など財務諸表を分析する方法を身に付ける。連結財務諸表の目的と種類及び企業集団の実態を分析する上での連結財務諸表の有用性を捉え、連結財務諸表の作成に関する基本的な会計処理方法を身に付ける。</p>	<p>行動観察 問題集点検 小テスト 積極的な質問 授業振り返り 学年末審査</p>